



幻の鳥

擬人化鳥

TSU TANI HIRO KO



津谷博子展

鳥よ、
蒼き無窮に
翔べ

故郷への想い
出会った人々への感謝
幻の穴馬紙あなうまがみ
歴史流るる空間で
鳥のように羽ばたいて
心地よく



2025 4/29^{TUE} - 5/6^{TUE}

名勝 養浩館庭園

〒910-0004 福井県福井市宝永3丁目11-36

開園時間＝午前9時～午後7時 会期中無休

※最終入園は午後6時30分

入園料＝一般 220円(団体160円)

※70歳以上、中学生以下、障がい者の方とその介助者1名は無料でご覧いただけます。※団体割引料金は無料対象者を除き20人以上



TSU TANI HIRO KO

【アーティスト・トーク】

日時 4月29日(火)・5月6日(火)

午前10時～12時

このたび、20回目の個展となる津谷博子「鳥よ、蒼き無窮に翔べ」を開催いたします。

本展は、幼少期の頃に心に刻んだ原風景や、近年は自然環境をテーマに鳥やお面などをモチーフとした造形作品を展示いたします。

これらの作品たちは、ふるさとの自然や文化が育んだ情景や感覚の記憶、異界とのつながりを表現しており、皆様に懐かしさや不思議な感覚を覚えていただけることでしょう。

また、今回は「穴馬紙（あなまがみ）」にもスポットを当てています。

創作の源泉と福井の歴史ある空間でアートを楽しむという時間を名勝養浩館庭園で過ごしていただけたら幸いです。

津谷博子展



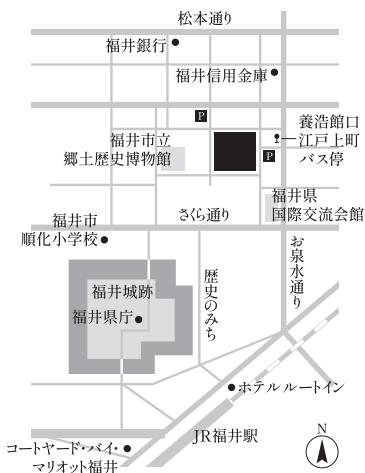
鳥よ、蒼き無窮に翔べ



3	1
4	2

① 三本鳥 ② ハート面 ③ 六花蓮 ④ 虹の人

photo 川副景介



津谷博子／アーティスト



1948年あわら市(旧金津町)生まれ。福井県立高志高等学校 17回卒業

彫塑を中心に創作活動を行う。近年は日本海の漂着物や、紙管、新聞紙、古い和紙、空き箱、ワイヤーなどの廃棄物を用いて、人体、三本鳥、カチーナ、バラの花、お面といったオブジェの創作に力を注ぎ、それらを自然とアートと建築による創造的空間に配置するインスタレーション・アートを展開している。

1991年福井県総合美術展知事賞受賞ほか。日展、北陸中日美術展など入選多数

駐 車 場／東門側に10台、西門側に10台分あり

アクセス／[JR福井駅から] ●徒歩約15分 ●京福バスで福井駅西口バスのりば「心臓センター町屋線」などで「養浩館口江戸上町」下車、徒歩3分 ●コミュニティバスすまいる(田原・文京方面)で「養浩館口江戸上町」下車、徒歩3分 [福井I.Cまたは福井北I.Cから]車で約20分

【お問合せ】津谷博子展実行委員会 tel.090-7083-3182